

会報第40号
発行日 平成20年1月31日
発行・編集 V・G 概輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/~kirin

V.G 概輪だより

わがまち紹介

総持寺・三島町地区

総持寺・三島丘・城の前町・東大田・宮田町地区は、北摂の一部で古くは京から山陽地方に抜ける西国街道

が通り、豪族や寺社の荘園が古くからあった地域です。

比較的古い時期に大手資本により工場や交通の便の良いところとして社宅地として開発が進みましたが、今では大きなマンション群が立ち並び住宅街に大変身してきています。

総持寺

補陀洛山総持寺は、千手観音様を御本尊としています。

総持寺は、インドのガラシ(伽藍)を訳して名付けられたとのこと。(皆様の願いを総て持ち備えた仏様のお寺という意味)

寺伝によれば中納言藤原山陰が、父高房の抱いていた造仏の願を果たすため遣唐使大神御井に頼んで白檀の香木を購入、千手観音像を造って摂津国島下郡に一字を建立して安置、「総持寺」と名付けた。

寺伝は総持寺伽藍の落慶法要は、寛平2年(890年)2月4日と伝えられている。

総持寺では観音様の他、薬師如来、地藏菩薩、不動明王、弘法大師、稲荷大明神、如来荒など多くの仏様や神様をお祀りしている。西国22番の札所として、連日巡礼者でにぎわっています。



今回、山主・中西隆英任職より、総持寺の創建の話・浄土の話や西国巡礼の話を分かりやすい説明を頂きありがとうございます。

磯良神社(疣水神社)

正式名称は磯良(いそ)

ら)神社と言ひ、御祭神の磯良大神は九州安曇氏の祖で、住吉二神とともに神功皇后三韓への御征途中に際し水先案内として航海の安全に功があつたと伝えられる。

元は式内社・新屋坐天照御魂神社の境内社であったが、寛文9年(1669)同神社が現在の地に御遷座されてより相離れて今日に至る。

磯良神社は、疣水神社と呼ばれ、ここにある水を疣につけると疣が治るといわれるようになり、遠くからもこの清水をくみ取りに来る人がおられる。

境内の南側に本殿の元地や玉の井の祠がある。玉の井では紙コップが置かれており、神水をいれて社殿で拝んでから飲むとよいとある。今では「疣水神社」と呼ばれ親しまれています。

また昔は桜の名所であり、花見には大変賑やかであったそうです。

以前は天然記念物「いぼ桜」と呼ばれた淡い紅白色の八重桜があつたそうですが、昭和19年に枯れてしまったそうです。

現在も境内には多くの

桜があり、人々をたのしませている。

新屋坐天照御魂神社



主祭神は天照御魂大神(アマテリミタマノオオカミ)、別名、天火明命(アメノホアカリノミコト)または饒速日命(ニギハヤノミコト)。

当社は延喜式神名帳(927年成立)に記載された古社である。

当地西河原の周辺はその昔新屋郷といわれ遙か古代から天照御魂神がお鎮まりになった。

名神大社の中でも相當祭(あいなめさい)に朝廷から幣帛を奉られた式内社最高の社格で府下には数社あるにすぎない。

天正(1573~92年)の頃までは神城大御事も盛んに行われ、近隣7

ヶ村の産土神(うぶすなのかみ)として崇敬された。

しかし戦国争乱等により衰退に傾き、寛文9年(1669)社殿は旧神域

の西北隅にあたる今の社地にうつり、同12年現在の社殿が新しく造営された。

現在、本社には主祭神の他、天兒屋根命・建御名方命(タケウミナカタノミコト)を僧殿に祭り、境内社には八幡神、住吉神、磯良神を祀る東之神社、速素盞鳴尊を祀る須佐神社、宇賀御魂神(ウガミタマノカミ)を祀る稲荷神社がある。

鴨神社

社伝によれば仁徳天皇の時代に百濟より大山祇神を迎えて摂津御島に淀川鎮守の社を造つたのを創祀としている。

これは『伊予国風土記逸文』に「乎知の郡。御嶋。坐す神の御名は大山積の神。一名は和多志の大神なり。是の神は、難波の高津の宮に御宇しめしし天皇の御世に顕れましき。此神百濟の国より渡り来まして、津の国の御嶋に坐しき御嶋と謂うは、津の国の御島の名なり。」とあることを根拠にしている。S・O

2月度行事予定

“1200年前の都と物集女街道の文化にふれる：向日市”

月 日：平成20年2月21日(木)
集合場所：阪急向日駅 改札出口 13:00集合
順 路：阪急向日駅→築福講常夜灯→向日市文化財資料館→須田家住宅→勝山緑地(元稲荷古墳)→向日神社→向日市天文館→説法石→長岡宮大極殿跡→阪急西向日駅

3月度行事予定

“淀川から三島の表玄関：津之江”

月 日：平成20年3月13日(木)
集合場所：高槻市役所生涯学習センター1階ホール 13:00
順 路：市役所→高槻市水道部・消防署→清掃局→芥川歩道橋→筑紫津神社→津之江南遺跡(津之江小学校)→稲荷神社・アジャリの森→清水池→阪急高槻駅